



パーキンエルマー ジャパン ASLS 事業部
OneSource ビジネスマネージャー
松本 登氏

PerkinElmer 株式会社パーキンエルマー ジャパン
For the Better

ラボの機器のメンテナンスや クオリフィケーションを ベンダーを問わず一本化して受託する 「OneSource ラボラトリー サービス」を開始

キーワードは、「オペレーション最適化」
「コンプライアンス遵守」「コストコントロール」

— OneSource ラボラトリーサービスの特長はどのようなもののでしょうか？

松本氏：「OneSource ラボラトリーサービス」は、ラボの機器をベンダー問わず分析装置から一般汎用機器にいたるまで一社が一括して管理するアセットマネジメントプログラムです。これは、当社が世界に先駆けて開始し、現在、業界最大手となっているサービスです。

当社のエンジニアは、顧客の施設に常駐するか、定期的に巡回し、機器管理を行います。これまで各ベンダーごとにバラバラだったIQ、OQ、PQの実施日程の管理、SOPの標準化、ドキュメント管理のほか、機器ごとの故障率やメンテナンス費用を把握し、ベンダーの見直しや統合の提案なども行います。また、機器移設の際には、プロジェクト全体の工程と費用を一括管理するため、機器ごとに各ベンダーへ個別依頼するよりも、効率的に作業を実施することが可能となります。

これによって、従来、顧客が多量なリソースを投入していた機器のメンテナンスや、キャリブレーションなどの負担を軽減し、研究所や製造部門の生産性を向上させるとともに、機器の維持管理費用の軽減を図ることができます。

— すべてのベンダーの機器に対応可能なのでしょうか？

松本氏：当社が窓口になって業務内容を確認し、当社のエンジニアまたは、他社での対応についての振り分けを行います。まずは、ご要望いただいたコアな範囲

からスタートし段階を経て契約を見直していくことで、継続的にコストを削減していきます。初年度契約締結時では、10～15%の削減実績があります。

部品については、他社製品を含め世界4ヵ所の部品供給センターに保有しているほか、36,000種類の部品を登録しています。さらに国内にも在庫を保有し、交換頻度の高い部品については、顧客先に常駐するエンジニアが保管・管理する体制をとっています。

エンジニアについては自社のマルチベンダートレーニングセンターで、さまざまなメーカーの機器に対応するための訓練を行っているほか、GxPについての教育も受けています。

— これまでの実績について聞かせてください。

松本氏：グローバルでの「OneSource ラボラトリーサービス」は、2004年の本稼働開始以降、当社が契約しているアセット（装置・機器）の数は、2010年で約40万、エンジニアが常駐している顧客先は150施設以上になっています。顧客は、医薬品・ライフサイエンス業界のほか、化学品業界や環境分析の分野にも広がっています。

近年、海外では、急速に広がりを見せているこのようなサービスを今後、日本でも展開し、日本の医薬品産業に向けて新しいサービス・ソリューションを提供していきたいと考えています。

株式会社パーキンエルマー ジャパン
ASLS 事業部 ラボラトリーサービス
〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパークテクニカルセンター4階
TEL：045-339-5889
FAX：045-339-5888
www.perkinelmer.co.jp

OneSource
Laboratory Services



OneSource ラボラトリーサービス

- **マルチベンダー機器サービス**
— 機器メーカーや機種に関わらず分析装置から一般汎用機器に至るまで幅広いラボのニーズに対応
- **オンサイトサービス**
— お客様の施設内に当社のエンジニアが常駐することによりサービスレベルが飛躍的に向上
- **アセットマネジメントサービス**
— 標準化されたサービスプロセスにより機器毎の故障率やメンテナンス費用を的確に把握
— 各機器の点検やキャリブレーションの日程管理と故障発生時におけるメーカーへの修理依頼
- **ラボ機器の移設サービス**
— プロジェクト全体の工程と費用面を一括管理しお客様の負担を大幅に軽減
— 機器ごとに各メーカーへ個別に作業依頼するよりも総費用を削減

オペレーション 最適化

- 故障発生時におけるレスポンスタイム改善と稼働率向上
- メーカーへの作業依頼分も含めてサービスプロセスと機器管理を標準化
- ユーザーの間接工数を大幅削減

コンプライアンス 遵守

- ユーザーのVMPやSOPに従ってOQのプロセスやドキュメントの統一化をサポート
- PM及びOQの日程を管理し、作業の実施遅れや漏れを防止

コスト コントロール

- ベンダーの整理・統合により総費用を削減
- オンサイトモデルでは初年度契約締結時に10～15%の削減実績
- 機器毎にメンテナンス費用を把握し、定期的な見直しを実施

株式会社パーキンエルマー ジャパン
www.perkinelmer.co.jp

ASLS事業部 ラボラトリーサービス
〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパークテクニカルセンター4階
TEL：045-339-5889 FAX：045-339-5888

PerkinElmer
For the Better